

## 令和8年度一般会計当初予算の特徴

### 1. 当初予算額 726億8,000万円（対前年度当初比+3.3%）

※令和7年度当初予算額703億5,600万円

### 2. 市税収入 358億402万円（対前年度当初比+5.3%）

○ 主な要因は下記のとおり

- ・個人市民税 対前年度当初比 + 7.2%
- ・法人市民税 対前年度当初比 + 15.7%
- ・固定資産税 対前年度当初比 + 2.8%

### 3. 歳入予算の特徴

○ 個人所得及び納税義務者が増加傾向にあることから個人市民税を増収と見込んだことに加え、主要法人の業績予測から法人市民税も増収と見込んだことなどにより、市税は対前年度当初比で増額となりました。

また、市債が教育債や民生債の増などにより増額、県支出金が給食費負担軽減交付金の皆増や施設型教育・保育給付費等負担金の増などにより増額、地方消費税交付金が増額となりました。

- ・市債 対前年度当初比 +28.3%
- ・県支出金 対前年度当初比 +14.5%
- ・地方消費税交付金 対前年度当初比 +9.8%

### 4. 財源構造

- ・一般財源比率 61.2%（+1.5ポイント（前年度当初 59.7%））
- ・特定財源比率 38.8%（▲1.5ポイント（前年度当初 40.3%））
  
- ・自主財源比率 62.4%（▲1.0ポイント（前年度当初 63.4%））
- ・依存財源比率 37.6%（+1.0ポイント（前年度当初 36.6%））

### 5. 歳出予算の特徴

○民生費が、対前年度当初比 7.5%、22億5,600万円余の増となりました。

主な要因は、教育・保育事業、障害者自立支援等給付事業の増などによります。

○教育費が、対前年度当初比 8.2%、8億6,000万円余の増となりました。

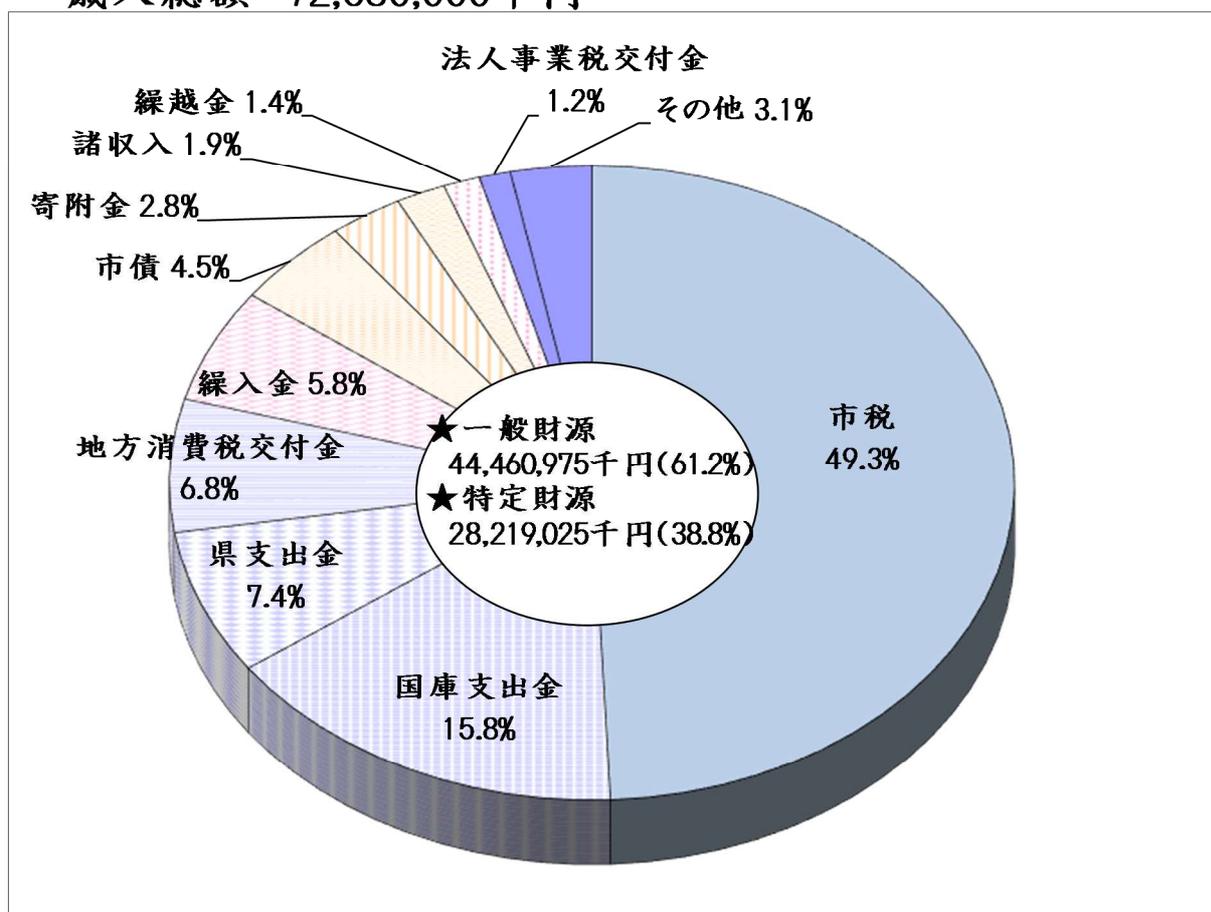
主な要因は、市民会館施設整備事業、小学校施設営繕事業の増などによります。

○消防費が、対前年度当初比 31.5%、9億4,700万円余の減となりました。

主な要因は、消防指令センター共同運用事業の減などによります。

# 令和8年度小牧市一般会計当初予算

歳入総額 72,680,000千円



歳出総額 72,680,000千円

